

- センスと論理のバランス
  - 正解の過剰化
    - 論理のみでは差別化が困難な時代
    - 便利さの先にある情緒的価値
  - 
    守りの論理と攻めのセンス
    - 機能から「物語」への転換
    - 論理は失敗を避ける最低条件
    - センスは心を動かす突破口
- 世界観を生む独自の物差し
  - センスを磨く知識の蓄積
    - センスは学習の結果
    - 教養で自分のものさしができる
  - 
    自分なりの美意識の確立
    - 「美しくない」を自ら判断
    - 一貫性のあるメッセージ
    - 流行に左右されない価値観
- 感性を形にする技術
  - 直感と論理の往復運動
    - 言語化できない違和感を大切に
    - 直感を論理で説明し納得させる
  - 
    細部への徹底したこだわり
    - 小さな矛盾が世界観を壊す
    - 椅子の選択一つに理由を持つ
    - イメージ共有のための言語化